

新型コロナウイルス感染症について

～安来市民の皆様へ、安来市医師会からのお願い(第3報)～

9月以降、新規の新型コロナウイルス感染者数がじわじわと増加し、クラスターも発生しています。この傾向は関東や京阪神などの大都市部だけでなく、全国各地にも広がっています。累計感染者数は全国でとうとう10万人を超えました。死亡者数も1,800人を超えています。山陰両県の感染者数も徐々に増えてきました。

例年、冬季には季節性インフルエンザが流行し、多数の発熱患者が発生します。専門医でも、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症を症状から見分けることは難しい場合があります。

島根県は『今冬のインフルエンザ流行に備えた相談・診療・検査体制の整備について』として新たな体制を整備しました。具体的には、新型コロナウイルス感染症も含めた相談・診療・検査が、地域で適切に提供できるよう、発熱などの症状がある患者が保健所に相談することなく、「かかりつけ医」等の地域で身近な医療機関に直接電話をして受診できる新たな体制です。11月からのスタートとなりました。

11月16日からスタートする安来市内の指定医療機関における相談・受診方法の要点です。

- ◎ **発熱や咳・痰、全身のだるさなど症状がある場合は、まずは「かかりつけ医」に必ず事前にお電話でご相談いただき、その指示に従ってください。**
- ◎ 「かかりつけ医」がない場合や受診できない場合、受診すべきか迷う場合には、「しまね新型コロナウイルス感染症『健康相談コールセンター』(松江保健所 0852-33-7638)」へ電話でご相談ください。診療・検査が可能な医療機関をご案内します。
- ◎ 発熱などの症状がない場合でも、新型コロナウイルスの感染の不安がある方や、患者と接触した方、感染予防策などの一般的なご相談をしたい方についても、従来どおり「しまね新型コロナウイルス感染症『健康相談コールセンター』(松江保健所 0852-33-7638)」へ電話で相談してください。

新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザなどの感染防止の3つの基本は(1)3密を避け身体的距離の確保、(2)マスクの着用、(3)手洗い(手指消毒)の徹底です。日常健康管理などの「新しい生活様式」を継続することです。

(裏面)

また、高齢者の方、中年以降で高血圧や糖尿病・心臓病・呼吸器疾患など持病のある方、喫煙習慣の方は、新型コロナウイルス感染症で重症化しやすいとされています。インフルエンザワクチンの予防接種を受けましょう。インフルエンザワクチンは、小児も6ヶ月以上であれば推奨されています。今年のインフルエンザ流行状況を見ますとまだまだ間に合いますので、あきらめず、11月中に接種することを目指して医療機関にご相談ください。

マスク・手洗い等の感染予防策をしていれば、医療機関の外来で感染する可能性は低いです。安心して受診してください。なお、冬季であっても、医療機関は頻回に室内の空気の入替え（換気）を行います。また、屋外や駐車場で自家用車内での診察をお願いすることもあります。受診される際には十分な防寒着や防寒対策の準備と、連絡用の携帯電話の用意をお願いいたします。

安来市医師会は、引き続き市民の皆様のために全力で新型コロナウイルス感染症と戦っていきます。長く厳しい戦いが続きますが、一致団結して頑張りましょう。

令和2年11月15日
一般社団法人 安来市医師会

付録：電話相談される場合の要点

1. 相談者本人ですか？ 年齢は？ 性別は？
2. 心配な症状はなんですか？（複数可）
発熱：__月__日から__日間 最高体温：__°C 日から__日間程度
熱がでるので解熱剤で対応している
のどが痛い せきが出る 痰がでる ニオイや味がしない 息苦しい 体がだるい
3. 新型コロナウイルスに感染した方との濃厚接触がありましたか？ なし あり
4. 今回の症状がでる前の2週間以内に新型コロナウイルス感染が多発している地域に行きましたか？
または、その地域から来客がありましたか？ なし あり
5. 最近、感染者が多発した店舗や施設あるいはイベントに行きましたか？ なし あり
6. 治療中の病気はありますか？ なし あり
呼吸器 腎臓 免疫抑制治療 糖尿病 心臓 がん 抗がん剤 その他の病気など
7. 女性の方は、妊娠中、あるいは妊娠の可能性はありますか？ なし あり